



20本推第350号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

高知県本山町長 今西 芳彦



今後の道路行政についての意見・提案について

標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県本山町

- 本山町にとって、地場産品である嶺北木材等、を高知自動車道
本道路で、高知県内外へ搬出しており、高速道路は、生活幹線
道路である。規格幹線道路のネットワークである、「四国8の
字ネットワーク」の早期整備を望む。国道は、歩道が設置され
ない上、幅員が狭いため、大型車両のすれ違いが、できな
い箇所も存在し、非常に危険である。国道等の整備も必要である。
よって、日常生活の為に使用する
- 道路整備に際して、現行の費用便益分析には、地方独自の評価
として、高知県の通行規制解消や、救急救命上昇等の便益が加
えられるべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

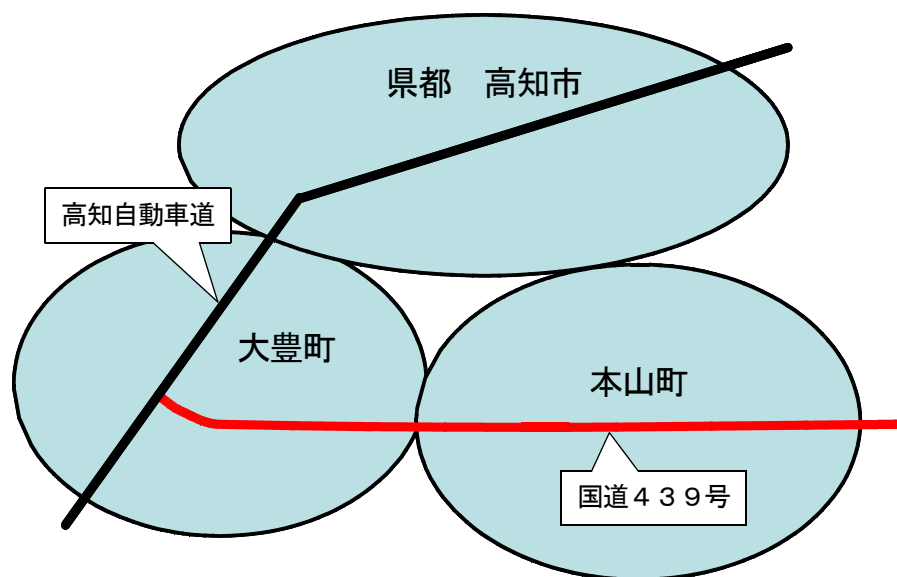
高知県本山町

○現状

本山町では、町の主要な産業である木材の輸送路として高知自動車道が重要な道路である。

また、通勤や通学等、町民の日常生活に国道439号が重要な道路である。

図-1 本山町の幹線道路網



○課題

四国内の高規格幹線道路網が整備されていないため、町の主要な産業である木材の流通に支障をきたしている。

また、住民の生活道路は、幅員が狭小で、大型車両のすれ違いができない箇所や歩道が設置されていない箇所があり、非常に危険である。

写真-1 道路幅員が狭小で歩道がなく歩行者等に危険（国道）



今後の道路行政についての意見・提案

②－②地域の目指すべき将来像

高知県本山町

○町の将来像

本山町では、近年における急激な少子高齢化への対応として、町の歴史と文化を後世に継承し、次代を創る子供達の教育環境を整備するため、教育施設と文化施設を一体化し、新たな「地域おこし」を目指すこととしている。

○広域幹線軸としての道路

町の農・畜・林産物を輸送するための、四国内や四国外を結ぶ高知自動車道を広域幹線道路として位置付け。

○都市軸及び生活軸としての道路

隣接する市町村を結ぶ国道は、通勤・通学や住民の生活に利用されると共に、高知県内や県外への農・畜・林産物を輸送するための都市軸及び生活軸として位置付け。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

高知県本山町

○ 重点事項 (2) 地域活力の向上 (8) 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	○ 代表事例 ・ 高規格幹線自動車道（四国8の字ネットワーク） ・ 国道439号	○ 期待する効果や評価等 ・ 高知県内や県外への物流の確保。 ・ 交通安全の向上。	○ その他
---	--	---	--------------